

授業概要

博物館における教育活動は、学校での学習、生涯学習などさまざまな場面で活用されている。また、展示を通しての教育以外にも、教育プログラムや調査研究の公開など多岐にわたる。本授業では各館の取り組みの事例を挙げながら、博物館における教育活動の意義、方法について講義する。

授業計画

第1回	オリエンテーション
第2回	博物館における教育の特性と意義
第3回	博物館教育の歴史
第4回	博物館と学校教育
第5回	博物館教育の手法（1）調査研究の公開
第6回	博物館教育の手法（2）展示
第7回	博物館教育の手法（3）教育プログラム、ワークショップ
第8回	博物館教育の手法（4）子ども向けの博物館、教育活動
第9回	教育プログラムの提案
第10回	教育活動の評価
第11回	博物館教育と地域
第12回	ユニバーサルミュージアムの理念と博物館教育
第13回	博物館ボランティア
第14回	博物館教育のための人材育成
第15回	まとめ
第16回	筆記試験

到達目標

博物館教育の意義、方法の学習をとおり、博物館での学びの特性、社会における役割について理解し、博物館における教育に関する基礎的な知識を身につける。博物館での教育活動の意義をふまえて具体的な提案をおこない、その利点や課題を考察できる能力を身につける。

履修上の注意

- なるべく多くの博物館・美術館に足を運び、教育活動の取り組みについても積極的に見学、体験をすること。
- 授業内で博物館教育に関する経験、考え、教育プログラムの提案などについて書く時間を設ける予定である。自身の考えを文章にまとめることができるように整理しておくこと。

予習・復習

- 授業内で紹介した参考文献などについて、積極的に調べること。

評価方法

期末試験（70%）、授業内課題（30%）によって評価する。

テキスト

- 教科書は使用しない。参考文献を授業内で紹介する。
- 資料を毎回配布する。